

## 高齢化と少子化傾向

千葉拓郎 岩手県宮古市立花輪中学校教諭

### 2 おもな学習活動 (1～2時間)

#### 1 新聞活用のねらい

- 生徒自身の手で新聞記事を見つけるという作業を通して、社会的事象に対する興味・関心を持たせる。
- 新聞記事を利用して、高齢化、少子化といった社会的事象を判断し表現する能力を身につけさせる。

#### 2 授業展開

- 高齢化、少子化社会が進展する中でどのような問題点が起きているか考えさせ、さらに今日の社会保障制度について対応を考えまとめさせる。
- 高齢者の社会不安、少子化についての対応を考えまとめさせる。

### 3 おもな学習活動

(1～2時間)

#### ねらい

#### おもな学習活動

①新聞記事により高齢化、少子化社会についての関心を高める。

①生徒、教師が収集してきた新聞記事に関する発表や説明を聞いて日本の高齢化、少子化社会の様子を知る。 **資料▶ 1 2**

②人口構造の変化について確認する。

②人口統計に関する資料を読んで、日本の高齢化、少子化社会の動向を確認する。

③高齢化、少子化社会の問題点を発表する。

③②の資料から、今後の問題点を予想し発表する。

④高齢者の不安や要望について考える。

④投書欄などから不安や要望を読み取る。 **資料▶ 3 4**

⑤社会保障制度を理解する。

⑤社会保険制度の種類を知り、今後の少子化による動向を理解する。

⑥高齢化、少子化社会における対策を考える。

⑥高齢化社会に向けた国の対応についてまとめる。 **資料▶ 5**

⑦高齢化、少子化社会についてまとめ発表する。

⑦これからの高齢化、少子化社会について自分の考えをまとめる。

#### 4 評価の観点

- その単元（時間）の学習に必要な記事を収集することができたか。
- 社会的事象に対し、自分の考えを持ち発表することができたか。

資料 1 河北新報 1998. 8. 9 付朝刊

# 高齢対策 待ったなし

住民基本台帳に基づく人口、世帯数、老年人口

(1998年3月31日現在)

都道府県名	人口			世帯		老年人口	
	人口(人)	増減数(人)	変動率(%)	世帯数(世帯)	1世帯当たり人口(人)	65歳以上人口(人)	高齢化率(%)
北海道	5,693,495	▲1,440	▲0.03	2,354,431	2.42	933,046	16.39
青森	1,506,412	▲1,941	▲0.13	524,010	2.87	263,285	17.48
岩手	1,429,752	▲579	▲0.04	468,412	3.05	281,229	19.67
宮城	2,333,334	▲9,268	▲0.40	799,962	2.92	375,362	16.09
秋田	1,214,254	▲4,366	▲0.36	394,328	3.08	262,182	21.59
山形	1,250,752	▲2,238	▲0.18	370,260	3.38	270,296	21.61
福島	2,139,879	▲587	▲0.03	676,331	3.16	405,221	18.94
茨城	2,983,111	8,231	0.28	965,844	3.09	458,976	15.39
栃木	1,994,303	5,337	0.27	649,798	3.07	320,652	16.08
群馬	2,009,745	4,495	0.22	667,079	3.01	341,988	17.02
埼玉	6,804,517	38,444	0.57	2,410,696	2.82	771,154	11.33
千葉	5,834,275	27,595	0.48	2,126,946	2.74	735,616	12.61
東京都	11,624,986	50,055	0.43	5,246,367	2.22	1,711,435	14.72
新潟	8,268,275	50,849	0.62	3,258,486	2.54	1,031,251	12.47
富山	2,490,637	▲678	▲0.03	768,342	3.24	495,266	19.89
石川	1,128,066	423	0.04	345,688	3.26	217,849	19.31
福井	1,174,889	758	0.06	390,379	3.01	205,747	17.51
山梨	827,334	163	0.02	247,487	3.34	158,185	19.12
長野	882,611	1,859	0.21	298,758	2.95	163,622	18.54
岐阜	2,197,325	3,184	0.15	726,139	3.03	449,499	20.46
静岡県	2,105,973	2,822	0.13	656,551	3.21	354,089	16.81
愛知県	3,748,621	6,282	0.17	1,249,014	3.00	611,402	16.31
三重	6,838,342	36,974	0.54	2,413,156	2.83	912,886	13.35
滋賀	1,852,854	3,811	0.21	625,918	2.96	325,275	17.56
京都	1,305,535	11,584	0.90	411,868	3.17	199,261	15.26
大阪	2,559,215	4,048	0.16	980,676	2.61	418,736	16.36
兵庫県	8,616,279	8,804	0.10	3,407,410	2.53	1,160,213	13.47
奈良	5,473,832	27,220	0.50	2,013,605	2.72	855,609	15.63
和歌山	1,444,726	3,862	0.27	491,833	2.94	218,292	15.11
鳥取	1,095,626	▲2,574	▲0.23	391,093	2.80	213,782	19.51
徳島	618,996	▲435	▲0.07	203,408	3.04	127,762	20.64
香川	768,310	▲2,421	▲0.31	255,698	3.00	178,591	23.24
岡山	1,956,160	2,628	0.13	689,775	2.84	369,734	18.90
広島	2,875,022	1,726	0.06	1,101,979	2.61	494,451	17.20
山口	1,543,727	▲3,903	▲0.25	592,960	2.60	319,481	20.70
徳島	836,300	▲935	▲0.11	289,574	2.89	169,139	20.22
香川	1,034,241	209	0.02	367,446	2.81	203,096	19.64
岡山	1,520,642	▲1,006	▲0.07	573,348	2.65	302,234	19.88
広島	822,812	▲1,598	▲0.19	327,009	2.52	181,473	22.06
山口	4,940,435	20,504	0.42	1,866,566	2.65	797,568	16.14
徳島	885,175	▲338	▲0.04	279,173	3.17	168,527	19.04
香川	1,542,151	▲5,110	▲0.33	564,869	2.73	296,583	19.23
岡山	1,870,059	1,961	0.10	649,770	2.88	371,526	19.87
広島	1,240,082	▲198	▲0.02	454,047	2.73	249,384	20.11
山口	1,187,974	▲955	▲0.08	447,415	2.66	226,067	19.03
徳島	1,792,719	▲2,429	▲0.14	722,168	2.48	383,974	21.42
香川	1,304,275	8,729	0.67	440,724	2.96	163,230	12.51
合計	125,568,035	310,974	0.25	46,156,796	2.72	20,124,226	16.03

【注】▲はマイナス、変動率で数字に下線を引いてあるのは、前年のプラスからマイナスに転じた県

の「老年人口は一六・〇三割の約二千二百四千人。前年と比べ、年少人口が前年より〇・二八割、生産年齢人口が〇・三二割それぞれ減少したが、老年人口は〇・六〇割も上昇し、高齢化がさらに進んでいる。

これは、人口の高齢化率がほぼ同程度にあるイギリスやフランス、スウェーデンなどよりも、約二倍から四倍のスピードになる計算。

老年人口を市町村別にみると、政令指定都市一三・九二割、それ以外の市一五・〇一割、特別区一五・四五割と全国平均(一六・〇三割)以下なのに、町村は二〇・二割に達し、既に人口の五人に一人が高齢者になっている。

一世帯当たりの家族構成数は約二・七二人で過去最低記録を更新。出生率の低下も含めて核家族化に依然歯止めがかかっておらず、高齢者対策が国民的課題になっている。

特に、過疎地など地方では、在宅介護一つをとって、ホームヘルパーやリハビリを指導する療法士人材不足が各地で表面化。介護保険の導入に支障が出る恐れもある。

## 全国人口動態調査

全人口に占める老年人口(六十五歳以上の割合が一六割を突破し、先進諸国の中でもまずめけたラ・ビードで高齢化が進んでいる)が、自治省が八日に公表した全国人口動態調査で明らかになった。このまま推移すれば、二十一世紀前半には人口の四人に一人を六十五歳以上の高齢者が占めることになる。財政危機が叫ばれている公的年金や二〇〇〇年度(平成十二年)度実施が決まっている公的介護保険をどうやって維持し、充実させて行くのか国民的論議が迫られている。

### (一面に関連記事)

調査によると、〇歳から十四歳までの「年少人口」は全人口の一五・二三割の約九百一十九万人。十五歳から六十四歳までの「生産年齢人口」は六八・七五割の約八千六百三十二万五千人。六十五歳以上

# 老年層16割超す

### 公的年金 介護保険 迫られる国民的論議

# 少子化対策「厚生白書」

## 「妻の過重負担」指摘

### 育児や家事、夫に促す

少子化対策を特集した九八年版「厚生白書」は、仕事優先の夫に対し、育児や家事に率先して取り組むよう求めている。

政治部 吉田 清久

「二十世紀後半、日本は豊かさを目指して走り続けてきた。しかし、その間、出生率は下がりが続いた。気付いてみれば、結婚や子育てに『夢』を持っていない社会になっているのではないかと」

白書は、こう切り出し、少子



男性も家事への参加が求められている（東京都内の料理作りを楽しむグループの集い）

化の要因の根こ部分について、家族や結婚観、地域、職場など幅広い観点から分析を試みている。

その中で、とくに浮かび上がっているのが、郊外のニュータウンに住み、「家事も育児も仕事も、過重な負担を強いられる妻、家庭に帰らず仕事を優先する夫」というサラリーマン夫婦の姿である。そして背景にあるのが、日本固有の企業風土だ。

サラリーマンの帰宅時間（首都圏居住）や、夫の育児時間について、白書はアンケートの数

かけて出世競争させる」「業績より勤務態度に重点を置き、定時を過ぎても帰りにくい職場の雰囲気がある」と指摘し、「企業に是正を求めている」。

具体的方策としては、①新規学卒者採用偏重の是正、中途採用枠の拡大②年功序列型賃金の見直し③業績中心の勤務評価④勤務時間の弾力化や就業形態の多様化などを列挙。これが結果的に「夫が家庭に戻って子育てに協力し、妻も家事や育児を高立させる」など少子化対策につながるというわけだ。

もともと、経済四団体が「一、二年、相次いで提言をまとめるなど、企業側も少子化対策に乗り出す」としている。経済団体の提言（五）は「男性も子育ての時間を持つ」といふ風土の醸成が重要だと打ち出した。

関西経営者協会は昨年、会員企業約千八百社に対し、子育て支援策を要請している。

職場の少子化対策には、まず企業トップや管理職の意識改革と率先した行動が求められている。白書を読んで、自らの問題としても考えてほしい。

### 企業風土が弊害に

日本固有の企業風土について、白書は「年功序列の慣行の下、同期横並びの中で、時間を

しむ制度でありました。欧米で導入された国では、受給者は及第と不満だらけから天引きされ、生活弱者の制度はなすです。この保には「やらす、ぶたたり」の制度を今、日本が導入し、制度で介護のサービスを受ける方式でなく、認定を万戸前後の生活弱者にとり、仮に認定されても一割の介護を家族、隣人、友人らに負担を、介護サービスをの自由任せるべきです。受け手ができずとも直接受け手ができれば、国民は安心して老後を迎え、不可欠な制度でしょうが、とがで、消費も増加して

### 弱者に厳しい 介護保険制度

佐藤 明衛 56歳

（北上市 無職）

「高齢化が進み、介護、医療、年金などの充実が国民の切実な願いとなっていてます。十二年度に介護保険制度が導入されることになり、時節に合うタイムリーな制度だと思っていました。ところが先日、地域福祉懇談会が開かれ、介護保険制度についても説明がありましたが、本当に理解が苦

資料3 岩手日報 1998. 8. 21付朝刊

「年を取ると、子供に返ることはよく言われます。わが家の姑（じゅうとめ）の痴ほうも年ごとに進み、米寿を過ぎたいま、気持ちよく生活してもらうために、おや食、着替えなど身の回りのことに、言葉では言い表せないくらい気を配ってあげなければなりません。

子供なら一つひとつできるようなって手を離れていきますが、逆にだんだんできなくなっていく様子を見るのは、とても恐ろしいことです。そんな姑に先日、ツマを切ったあげたところ、「いろとろとやっかいかけて、すまないね」と、ねぎらいの言葉をかけてもらいました。

嫁いだときからの同居生活も三十二年がたちましたが、日ごろの苦労が吹き飛び、心が和んだひとときでした。

## 応用例 『高齢化社会と少子化傾向』

- 高齢化、少子化について知る。  
「高齢化、少子化とはどんなことをいうのでしょうか」
- 新聞記事の発表を聞き、人口構造の変化について確認する。  
「どうしてこのような人口構造になってきたのでしょうか」
- 高齢化、少子化について問題点を発表する。  
「どのような問題点が考えられるのでしょうか」
- 高齢化、少子化に対する対策を考える。  
「どのようなことを実施していけば良いのでしょうか」

### 姑のねぎらいに 苦労も吹き飛び

主婦 山田麗世 57

（川崎市中原区）

資料4 産経新聞 1998. 9. 7付朝刊

「年を取ると、子供に返ることはよく言われます。わが家の姑（じゅうとめ）の痴ほうも年ごとに進み、米寿を過ぎたいま、気持ちよく生活してもらうために、おや食、着替えなど身の回りのことに、言葉では言い表せないくらい気を配ってあげなければなりません。

子供なら一つひとつできるようなって手を離れていきますが、逆にだんだんできなくなっていく様子を見るのは、とても恐ろしいことです。そんな姑に先日、ツマを切ったあげたところ、「いろとろとやっかいかけて、すまないね」と、ねぎらいの言葉をかけてもらいました。

嫁いだときからの同居生活も三十二年がたちましたが、日ごろの苦労が吹き飛び、心が和んだひとときでした。

資料5 日本経済新聞 1998.7.3付夕刊



少子化対策的を絞った今年の「厚生白書」が話題を呼んでいる。現状を「結婚や子育てに夢を捨てない社会」と断じ、男性中心社会を愛さなければ出生率は上がらないと切り込む。初めての女性執筆者責任者となった前厚生省情報・地域政策推進室長の梶野（かじの）美智子（みちこ）さん（44）は、自身も出産を選択しなかった。「白書」にかけた意気込みを聞いた。

――内容を並べ構成も集めてもらいますか  
 さん新。家族や働き方の懸念をどう表現するか。――母子家庭や育児休業などの事例が三つ形式で書かれています。――事例を出して、どう表現するか。――事例を出して、どう表現するか。――事例を出して、どう表現するか。

# 家族内の個人自立を支援

かという議論は内部であって、決して家族をバラバラにさせるものではない。反論が出ると思っています。――白書で最も強調した「起し」は「思いついたことを書く」。――思いついたことを書く。――思いついたことを書く。



東大法学部から、「家族 屈を出さない事実婚を選んや福祉に関心があって」厚。身内だけを福祉に集める生省に入り十年。入省四。披露宴もなし。――白書で最も強調した「起し」は「思いついたことを書く」。――思いついたことを書く。――思いついたことを書く。

## 厚生白書を執筆 梶野美智子さんに聞く

東大法学部から、「家族 屈を出さない事実婚を選んや福祉に関心があって」厚。身内だけを福祉に集める生省に入り十年。入省四。披露宴もなし。――白書で最も強調した「起し」は「思いついたことを書く」。――思いついたことを書く。――思いついたことを書く。

## 女性の視点で検証

「白書で最も強調した「起し」は「思いついたことを書く」。――思いついたことを書く。――思いついたことを書く。

## 少子化対策に的 脱男性社会迫る

「児童福祉の予算が公費保育所に集中していること」に疑問を感じた。無認可保育所や一時的保育にも回るよう、あるいは保育所に通わない家庭にも気を配ったつもりです。公平性の原則を常に念頭に置くようになりまし

**発展例** 学習課題 (6~8時間) **自分たちで、高齢化、少子化についての学習課題を決定し、課題追究学習の活動計画表を作成しよう**

- もっと追究してみようと思うことを書き出してみよう。
- 学習活動計画を決定しよう。学習内容、調査することを書き出してみよう。
- 調査、見学、体験活動をしたい機関や施設について相談してみよう。
- 学習課題を追究していく計画を作成しよう。
- 調査、見学、体験活動のまとめをしよう。
- 発表計画を立てよう
- 発表会をしよう
  - 他の発表に対しての良さや感想をまとめる。

日時	追究内容	役割分担
	活動先で質問内容	質問の回答

調査、見学、体験	
学習内容	
感想、意見	

発表資料	発表内容	役割分担